

JAERA NEWS LETTER vol.201

一般社団法人日本自動車リサイクル機構

ニュースレター 2026年 1月号



新連載

自動車リサイクル業界を担うホープ(21)

名前: 佐々木 湧太 (ささき ゆうた) (30歳)

所属: 有限会社二興(岩手県一関市)

担当: 部品部

特技: 球技

MBTI: 擁護者型(実行力があり、繊細で思いやり深い面もある。また、分析能力が高く、細かいことにもよく気づくタイプ。)

— 仕事で誰にも負けない部分

思いやりの心—お客様の立場に立って考え、気配りや配慮を欠かさないことを大切にしています。

— この業界の魅力を一言で未来をつくる循環の力

— 将来の業界への期待

中古部品や再生した材料がもっと使われるようになって環境にもお財布にも優しくなること!

※MBTIとは認識・決定理由・処理方法など16タイプの性格に当てはめるテストで、キャリアの適性判断、チームワークの強化、最近ではアイドルのプロフィールなど様々な分野で利用されています。

INDEX

【新連載】自動車リサイクル業界を担うホープ/巻頭言 — P.1

年頭にあたってのご挨拶—代表理事 石井 浩道 — P.2

関係機関の皆様より、年頭のご挨拶 — P.3

自動車リサイクルシステムが変わりました— P.4

11月新車販売・使用済自動車発生台数 — P.5

鉄スクラップ最新情報 — P.6

行事予定・お知らせ / 編集後記 — P.7

巻頭言

広報部会

木村 香奈子

新年あけましておめでとうございます。

2026年の干支は「丙午」。勢いと変化が一気に噴き出す年といわれ、燃え上がる火は混乱を招く一方で、不要なものを焼き払い、本質だけを残すとされています。

自動車リサイクルを取り巻く環境も、制度・市場・技術のすべてが大きな転換点を迎えています。省人化やAIの活用による効率化は重要ですが、それ以上に、資源を丁寧に扱い、信頼を積み重ね、国内での資源循環を確かなものにしていく姿勢が求められます。連携を深め、現場の知恵を結び、静かな情熱をもって循環型社会を支える。その一步一步が、激動の年を未来への礎に変えると信じています。本年も何卒よろしく願いいたします。

01

▶ 年頭にあたっての挨拶 - 代表理事 石井 浩道

新年のご挨拶

みなさま、新年あけましておめでとうございます。

2026年が希望と挑戦に満ち、みなさまにとってさらなる飛躍の一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

振り返れば2025年は、自動車リサイクル法20年目のレビュー対応に全力を注いだ一年でした。いま私たちは「循環経済」という新しい時代の入り口に立っています。その潮流を切り拓くうえで、私たちの業界は欠かすことのできない存在です。

日本の基幹産業である自動車業界が「サーキュラーなものづくり」を実現するためには、動脈産業と静脈産業の強固な連携が不可欠であり、私たちの役割は一層重要性を増しています。しかし現実には、在庫不足や不適正ヤードとの戦いといった課題が依然として立ちはだかっています。

だからこそ、国や行政、自工会や関係団体、有識者の先生方や消費者団体のみなさまのお知恵を結集し、状況を打開し好転させていかなければなりません。

私たちの業界を取り巻く環境は大きく変化しています。課題から目を背けることなく、正面から挑み、解決へと導く。その覚悟を胸に、皆さまのご支援とご協力に深く感謝しつつ、本年も業界の未来を切り拓く一年としてまいります。

1. 使用済自動車輸出規制の強化（輸出前検査の導入）
2. 不適正事業者の是正・排除と優良事業者の育成・支援
3. ASRチームの一本化と資源回収インセンティブ制度の参入障壁緩和
4. 外国人材の積極的な活用と育成
5. 電動車解体処理における安全性の確保と周知活動
6. 国内中古パーツ市場の拡大と活性化
7. 業界一枚岩構想の実現

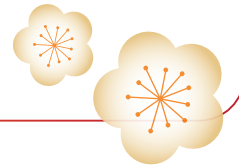
ひとつひとつの課題を着実に突破し、チームJAERAが力強く前進できるよう全力で取り組んでまいります。本年もみなさまの温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026年1月
一社）日本自動車リサイクル機構
代表理事 石井 浩道



02

▶ 関係機関の皆様より、年頭のご挨拶



経済産業省
製造産業局 自動車課
自動車リサイクル室長
宮越 朗 様

新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

日頃より自動車リサイクル制度の円滑な運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、自動車リサイクル制度の安定化、更なる推進及び高度化に向けた貴機構の絶え間ない取組に改めて敬意を表します。

本年4月には、ASRの削減及び再資源化の高度化を目指すために「資源回収インセンティブ制度」がいよいよ開始予定となっております。また、昨年は自動車リサイクル法施行から20年目にあたり、経済産業省・環境省審議会においては改めて施行状況の評価・検討を行い、制度の見直しと拡充に取り組んでまいります。

本年も、引き続き、貴機構及び皆様の一層のご協力をお願いするとともに、益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



環境省 環境再生・資源循環局
資源循環課
資源循環制度推進室 室長
河田 陽平 様

新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。関係機関の皆様におかれましては使用済自動車の適正なリサイクルにご尽力いただき深く御礼申し上げます。

昨年は、自動車リサイクル法の完全施行から20年となる節目の年でありました。昨年9月から経済産業省とともに開催した審議会では、制度の見直しに向けて有識者や業界団体等との議論を重ね、自動車向け再生プラスチック市場構築のための産官学コンソーシアムでは、再生プラ集約拠点構想について検討を開始したところです。

本年は、自動車産業を取り巻く環境の大きな変化を捉え、自動車リサイクル制度をはじめとする各種取組の一層の進化、発展のため、これまで以上に気を引き締めて業務にあたる所存です。

引き続き貴機構会員皆様方の一層の御協力をお願いするとともに、御健康と御多幸をお祈りして、年頭の御挨拶とさせていただきます。



公益財団法人
自動車リサイクル促進センター
専務理事
永井 辰幸 様

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃から弊財団の活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。自動車リサイクルの中核としてリサイクルの安定稼働、高度化をリードし、日本の自動車リサイクルの競争力向上、地域のリサイクルの発展に寄与している貴機構に敬意を表します。

今年も弊財団は自動車リサイクル制度の更なる安定化、資源循環型リサイクルの促進に資するテーマに取り組む所存でございます。

本年の皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念致しますと共に、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。



一般社団法人
自動車再資源化協力機構
代表理事
堂坂 健児 様

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より自動車リサイクル法三品目ならびにLiBリサイクルへの深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年12月のニュースレター第200号の発行、誠にありがとうございます。

昨年、施行20年を迎えた自動車リサイクル法は、資源循環へのシフトをより明確にすることを念頭に様々な議論が合同審議会の場でなされています。貴機構からも使用済自動車の海外流出や不適正事業者への対応など、制度運用のさらなる適正化と国内資源循環への貢献に関わる重要な提言をされています。これらの提言は当法人の事業にも深く関わる事であり、貴機構と連携をさらに強め、本質的な解決に結びつけて参りたいと存じます。

本年の貴機構の益々のご発展と会員各位のご健勝を心より祈念いたしますと共に、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



03

2026年1月4日から 自動車リサイクルシステムが新しくなりました!

主な変更点について

1) 画面デザイン刷新

業務ごとの使いやすさを考慮して画面を集約し、画面間を繰り返し行き来しなくても移動報告を進めることができるようになりました。

2) 適正処理に必要な情報を車台ごとに提供

1画面で対象の車台についての情報、必要なマニュアル等の情報、エアバッグ類やバッテリー装備等の情報をまとめて確認できるようにし、利便性を向上しました。レアメタル、LiB、易解体、リコール等の情報をシステム上で確認できます。

3) 事業者登録のオンライン化

4) スマートフォンやタブレット画面で移動報告ができるようになりました

5) 1つのIDですべての機能を利用できるログインIDの集約とポータル機能の新設

ログインした後のポータル画面で、通知やお知らせを確認できるようになりました。1つのログインIDで登録・許可を有する工程の機能が利用できるようになりました。

まずは、こちらにて新たにユーザーIDを取得し、パスワードを再設定ください。



新しい自動車リサイクルシステムを初めて使用するときは

新ログインページ: <https://lgln.jars.gr.jp/po/XXXS0010>

- ① これまで使用していた「事業所コード」と「パスワード」を使って**ユーザーID**を確認します。
 - ② 確認した**ユーザーID**と**メールアドレス**を入力します。入力したメールアドレスにパスワード設定画面のURLが通知されます。
 - ③ 通知されたURLをクリックし、**パスワード**を設定します。
- ★次にログインする時（2回目以降）から、①で確認したユーザーIDと③で設定したパスワードを入力してログインします。

操作方法は動画をご覧ください

詳細はマニュアルをご覧ください

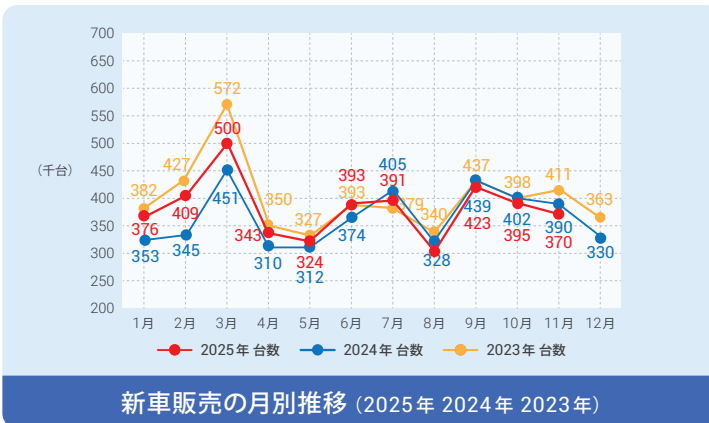
04

11月新車販売・使用済自動車発生台数・中古車輸出に係る返還台数

2025年11月の台数動向

— 新車販売・使用済自動車は前年割れ、輸出返還は3か月連続で前年超え

■2025年11月度 新車販売台数 369,721台（前年同月比94.9%）

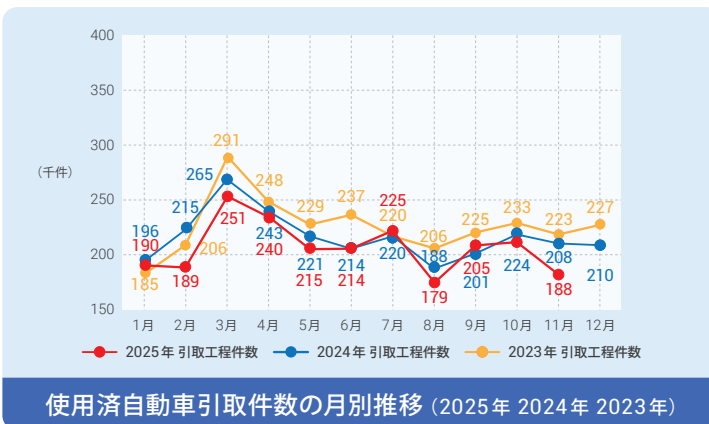


過去の新車販売台数推移		
年累計	台数(台)	前年比(%)
2025年(11月まで)	4,230,318	103.4
2024年	4,421,494	92.5
2023年	4,779,086	113.8
2022年	4,201,320	94.4
2021年	4,448,340	96.7

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

■使用済自動車引取（電子マニフェスト）実施状況

2025年11月度 引取工程 188,426件（前年同月比90.5%）



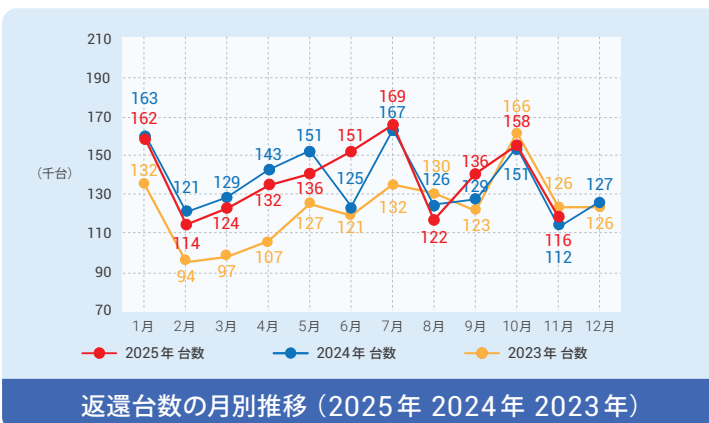
過去の使用済自動車引取台数推移		
年累計	件数(件)	前年比(%)
2025年(11月まで)	2,316,141	97.2
2024年	2,607,112	95.5
2023年	2,731,329	98.6
2022年	2,769,122	87.5
2021年	3,165,022	100.8

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

■中古車輸出に係る返還台数※

2025年11月度 116千台（前年同月比103.6%）

※中古車の輸出に伴い、預託していたリサイクル料金を返還した台数



過去の中古車輸出に係る返還台数推移		
年累計	台数(千台)	前年比(%)
2025年(11月まで)	1,523	104.0
2024年	1,644	111.0
2023年	1,481	115.7
2022年	1,281	95.5
2021年	1,342	107.2

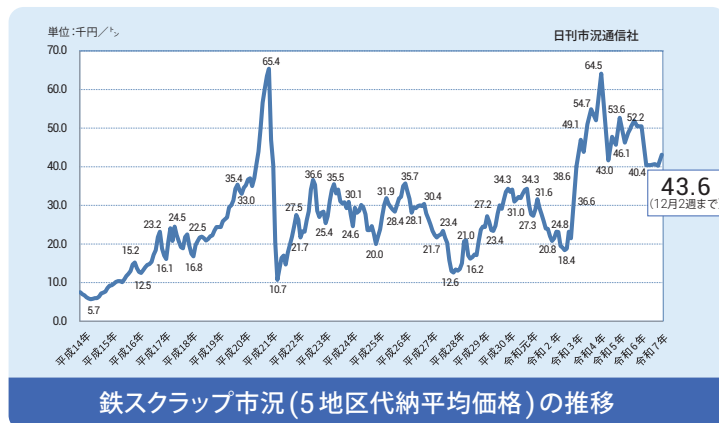
※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

05

鉄スクラップ最新情報

[提供：日刊市況通信社]

12月第3週（19日）の鉄スクラップ動向



11月18日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	42,500 ~ 44,000	様子見
	南関東	42,500 ~ 44,000	様子見
	浜値	42,000 ~ 44,000	様子見
	名古屋	43,500 ~ 44,500	様子見
関西	大阪	43,000 ~ 44,500	様子見
	姫路	44,000 ~ 46,000	様子見

海外鉄スクラップ相場、米国を除き概ね様子見商状

海外の鉄スクラップ相場は、米国国内の12月契約がNo.1ヘビーやシュレッダーなどの老廃系で16～20ドル程度、新断類のブッセリングで10ドル程度の値上がりが見られたほかは各地とも大きな変動がなく、トルコ向け、アジア向けなどいずれも様子見商状にある。

トルコの輸入鉄スクラップ相場は、12月初旬に1月入着予定の数量にめどが立ったこともあり新規成約が聞かれず、月中旬は様子見ムードが続いている。直近の成約では、米国玉HMS1&2(80:20)がCFR368ドル、欧州玉HMS1&2(80:20)がCFR362.50ドルを付けており、8カ月ぶりの高値水準を維持している。ただ、11月にかけて好転していたトルコ国内の鋼材需要がここにきて停滞の気配となっており、鋼材価格も軟調化する可能性がある。

アジア方面も概ね横ばい推移。台湾最大手の鉄筋メーカー、豊興鋼鉄(本社=台中)は、12月第3週(15～19日)の鉄筋販売価格および鉄スクラップの購入価格をいずれも据え置いた。これにより、同社のHMS1&2(80:20)の購入価格は1トン当たり8,200台湾元のままで、3週連続で横ばいまま推移している。

関東 様子見商状、市中筋は出荷淡々と

関東の鉄スクラップ市況は様子見横ばい商状だ。12月も後半に入り、市中筋は引き取りや加工、出荷を淡々と続けており、需給バランスに大きな変化は見られない。南関東の一部電炉では在庫量の増加に伴い、今週も荷止・制限対応が出ている。輸出交渉価格が伸び悩んでいることから、スクラップ相場の先高感も後退している。関東地区のH2炉前実勢価格は42,500～44,000円中心。H2浜値は42,000～43,500円中心、高値44,000円見当。

東海 約3週間にわたり様子見横ばい

東海の鉄スクラップ市況は、11月下旬の値上げ改定以降、約3週間にわたって概ね様子見横ばいの推移を続けている。東海電炉は年末年始に集中炉休を予定しており、鉄スクラップ需要は11月比で減少する。しかし、市中発生の低迷が続いているため、需要家筋は年商来高値の鉄スクラップ購入価格を据え置いたまま、様子見の姿勢を維持している。一部電炉は12月22日から集中炉休期間に入る。H2炉前実勢価格は43,500～44,500円中心。

大阪 需給安定を支えに市況は様子見横ばい

大阪地区の鉄スクラップ市況は模様眺めが続いている。越年に向けて入荷水準を落とせない環境には変わらず、一定の引き合いを維持したまま12月下旬を迎えている。水面下では個別対応で入荷促進を図る動きも見られる。また、年末環境によって、ヤード入荷も多少なりとも上向いていることにより、電炉入荷に殺到感はなくとも、計画もしくはそれに近い入荷量を確保できているH2炉前実勢価格は、43,000～44,500円中心。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、12月19日午後時点のもの)

06

JAERA 会員の皆様へ 特別価格でのご案内

新仕様 JAMA 方式一括作動処理ツール

新仕様の JAMA 方式一括作動処理ツールは、耐久性・耐水性・耐油性が向上した新モデルです。

JAERA 会員の皆様は、通常価格 228,000 円（税別）のところ **“特別価格 77,000 円（税別）”** でご購入いただけます。期間限定の特別価格となりますので、買い替えなどご検討中の方は、ぜひこの機会をご活用ください。

購入申込書や詳細については[こちら](#)



新 JAMA 方式一括作動処理ツール

※送料別途 ※JAERA 会員以外の方もご購入いただけますが価格が異なります。

※「ケーブルのみの販売」につきましては現在欠品が続いており、準備が整い次第あらためてご案内いたします。

編集後記



新しい年を迎えまた一つ歳を重ねましたが、後期高齢者と呼ばれるまではまだ数年あります。

誰しもそうだと思いますが、自分では「まだ若い」と思っている一方で、周りは「もう歳だから」といろいろ理由を付けて行動を制限しようとしします。私は特別長生きをしたいわけではありませんし、まだまだ元気で判断力もしっかりしているはずなのに、一番好きで楽しみにしているお酒の量に「ケチ」をつけられたり、幸いタバコは吸いませんが喫煙者が集まる酒場への出入りを注意されたりします。また、味の濃い料理が大好きなのに「塩分を控えなさい」と小言のように言われたり…。もちろん、みんなが私を心配してくれていることは分かっています。

それでも、自分の体を大切にしつつ「長生きだけが大切なことではない」という信念のもと、今年も人様に迷惑をかけず、ストレスを溜めずに、楽しいことをたくさん味わう一年にしたいものです。

そして、最大のストレスである「車がない」という言葉は禁句にするようにします。

広報部会長 田村 幸男

1 月の主な行事予定

※急遽、日程変更・延期の場合がございます。

13日(火) | 第64回合同審議会(対面・WEB)

16日(金) | 中国・四国ブロック会議(対面)

26日(月) | 第10回広報部会(対面)

※事務局は1/5から営業開始となります。

